

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
在宅看護学概論	NSP21_004	必修	2	2	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
山崎 洋子 他	301	y.yamazaki	授業日の 12:30~13:00			
授業の目的・概要	在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の概念と対象者や活動の場、活動方法の特徴、在宅看護を取り巻く保健医療福祉資源とそのシステムについて学習し、その上で、在宅看護の役割や意義を検討する。さらに、在宅看護の対象者でもある家族の定義や特徴・発達過程、家族を対象とした看護の意義と目的を理解し、家族構成員の様々な健康レベルによるヘルスニーズと家族の問題によって発生する在宅看護上の問題を理解し、家族を含めた援助の方法・技術を学修する。					
学習上の助言	日常生活援助の方法・技術や人間の成長発達、既習の疾病の治療などについてはよく復習しておく。					
教科書	ナーシング・グラフィカ在宅看護論① 地域療養を支えるケア/編:臺有桂ほか/メディカ出版/2019					
参考書	系統看護学講座 在宅看護論/著:河原加代子ほか/医学書院/2017					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	在宅看護の特徴と在宅看護に携わる看護者の役割を説明できる。		NS(1)(5)			
②	在宅看護を展開するために必要な情報とアセスメントの視点について説明できる。		NS(3)			
③	在宅療養者の家族の支援に必要な情報とアセスメントの視点について説明できる。		NS(3)			
④	在宅療養者とその家族を支えるための社会資源や地域包括ケアシステムを説明できる。		NS(2)(4)			
⑤	在宅療養者とその家族を支える多職種との連携方法や看護専門職の役割を説明できる。		NS(2)(4)			
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	在宅看護の概念・目的・特徴	対面授業	在宅看護とは、どのような看護か？在宅看護の目的や特徴について学ぶ。	2		
2	在宅看護の発展の歴史 在宅看護を展開するための基本理念 在宅看護における看護師の役割	対面授業	在宅看護は、国内外でどのように発展してきたかを考察する。	2		
3	在宅療養者を取り巻く現状と看護	対面授業 演習	在宅で療養する人々の現状を理解する。	2		
4	在宅療養者とその家族を支える看護職		在宅で療養する人々を援助する援助者の現状を理解する。	2		
5・6	在宅療養者と家族の理解		在宅療養者と共に生活する家族を理解する。	2		
7・8	家族アセスメントの視点		家族をアセスメントの方法を学ぶ。	4		
9	在宅療養者とその家族を支えるしくみ		我が国の地域包括ケアシステムについて学ぶ。	2		
10	在宅療養者を支援する訪問看護のしくみ		我が国の訪問看護制度について学ぶ	2		
11	在宅療養者を支援する訪問看護の実際		事例解説しながら訪問看護活動を紹介する。	2		
12	在宅療養者とその家族を支えるための多職種連携		在宅療養者とその家族を支えるための多職種連携の必要性について考える。	2		
13	多職種で支える在宅療養者とその家族への援助		事例を解説しながら多職種で支える在宅療養者とその家族への援助を考える。	4		
14	在宅での看取りの援助		在宅で最期を向かえる療養者とその家族への援助について考える。	2		
15	在宅看護の今後の動向		在宅看護活動の課題、今後の発展について考察する。	4		
試	定期試験					

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	30	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験とする。看護師国家試験の出題問題も範囲とする。				メールで回答の解説を送付する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①		在宅看護について理解した学生自身による考察を重視する。レポートによる積極的な疑問の提示、意見を期待する。				レポートは後日、コメントを入れて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①		レポートの提出期限の厳守、出席状況を成績に反映させる。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
担当教員：◎山崎 洋子、渡邊 美樹							
教員の実務経験：山崎：行政保健師 10年、大学病院退院支援活動の経験を有する。 渡邊：病院看護師、行政保健師、訪問看護師の経験を有する。							
実践的授業の内容：講義では、経験した実践事例を用いて在宅看護の理解を深める解説を行う。 ・毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・Teamsを使った同双方型授業も実施する可能性があるため、通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。							
備 考：授業の内容を時に変更することがある。 本科目を履修していなければ、在宅看護実習Ⅰ、Ⅱは履修できない。							